

ニュース速報

4.9.'70
広報室

□ 4月9日 新入生889名を迎え類別によるオリエンテーションが行なわれた。午前10時から約2時間にわたり、各級の教官および外国語担当の教官により今後の勉学に対する心がまえや外国語履習の組分けについて説明があった。各級とも予定されていたオリエンテーションをほとんど終了した。

□ 4月8日 大学院教官会議で多数の応募者のうちから博士課程補欠入学者2名が決定された。

□ 4月8日午後3時ごろ、正門外側にたてかけてあった立看板が風で倒れ、通行中の書店主人(74才)が自転車もろともに倒され、頭部と胸部に打撲をうけ、左前額部に負傷した。立看板が禁止されている折から、このような危険な事故が起ったことは極めて遺憾である。

ニュース速報

4.25.'70
広報室

■ 4月28日のいわゆる「沖縄デー」に関連して、本学でもある程度の混乱が起ることが懸念されております。このため、4月25日夕刻より30日朝まで、大学は従来の入構制限を厳格に実施します。また、各教職員あてに危険物の厳重な管理につき依頼が行なわれました。

■ 教務部長は各寮委員長に対し、寮外者の多量宿泊の事態を再びくりかえさないよう警告しました。なお本日、恩田寮委員長、同会計委員あて、寮経費負担区分の話し合いについて教務部長から呼びかけの書簡を送りました。

ニュース速報

4.15.'70
広報室

■ 4月11日正午ごろより、約30~40名の学生が集会と学内デモを行なったが、午後3時から予定していた学外デモを急に中止し、本館109講義室を許可なく使用した。大学は直ちに退去するよう警告したが、学生は集会を続行し、午後3時半ごろ、学内デモをくりかえし如月寮に入った。大学はこの事件を重視し、4月14日厳重な警告を発した。

■ 4月14日、教務部長は各寮委員長にあて、最近の学外者宿泊につき、次の警告文を送りました。

さる3月5日、11日および25日に多数の学外者が向岳寮に宿泊したことが判明している。その際警告したように、学外者の宿泊は学寮本来の目的からいってだしく逸脱していると考え、今後貴寮においてこのようなことが絶対に起らないよう、委員長として責任のある行動をとられたい。

ニュース速報

4.30.'70
広報室

■ 4月30日は東急などの私鉄ストのため、学部1年および大学院の授業が臨時休講となりました。

■ 4月29日午前10時頃 原子炉研、同位体分離実験室入口のガラスが投石によりこわされているのが発見されました。

■ 4月28日のいわゆる沖縄デーに関連して教務部長名で下記のような警告が出されております。

昭和45年4月30日

向岳寮委員長(総務)殿

東京工業大学教務部長
長崎久弥

度重なる警告にもかかわらず、これを無視してまたもや4月27日、28日および29日に多数の学外者が向岳寮に宿泊したことが確認されている。

これについて事情を聴取したいので5月2日、午前11時に向岳寮委員長(総務)たる者が教務部長室に出頭されたい。

ニュース速報

5.8.'70
広報室

日本育英会奨学生について

■ 本年度は特に修士2年の採用内示(51名)がありました。出願期日は5月18日までです。希望者は至急厚生課まで申し出て下さい。

■ 修士1年については157名(昨年度より16名増)の採用内示がありました。今年度は従来より早期交付を実現すべく努力した結果、4月20日112名の才1次選考も完了しました。目下才2次選考中であります。

■ 学部奨学生は次の要領で募集しています。

- (イ) 4年対象 5月20日まで
- (ロ) 1・2・3年対象 5月30日まで

以上の詳細は、テニスコート横の厚生課掲示板をご覧ください。

ニュース速報

5.21.'70
広報室

■ 5月19日付の学長名による向岳寮生への入寮許可取消ならびに退去要求の通告に対し、5月21日五寮委員会は学長に於て「団交要求書」を提出してきました。大学は同日、従来の方針通り、いわゆる団交は行わないことを文書で回答しました。なおこの文書の中で大学は五寮委員会委員長から事情を聴取する用意があり、厚生課に申し出るよう要望しております。

「団交要求書」 5月19日付とらて貴学長よりわれわれ寮生にかけられた退寮処分および退去命令はまったく不当かつ理不尽なものであり絶対に認めることはできません。したがってわれわれ寮生は各寮寮生総会および5月20日の全寮緊急抗議集会の決議とらて貴学長をはじめとする大学責任者に対して5月22日にわれわれ全寮生との団体交渉をらてよう要求する。その諾否については5月22日12時まで文書で回答されたい。なお団体交渉の場所、時間、方式については予備交渉をらて用意がある。

「大学側の回答」 5月21日付学長宛団交要求書をうけたらたが、このような団交形式による交渉は一切行わないというのが本学の方針であるから、この要求に応じることはできません。ただし、この件について貴委員長から事情を聴取する用意があるので、厚生課に申し出られたい。

ニュース速報

5.19.'70
広報室

■ 5月19日向岳寮統務、五寮協議会議長、向岳寮生全員に対し、向岳寮の入寮許可を取消し、退去を要求する通告が学長名で出された。

これは大学側の警告にもかかわらず、向岳寮における度重なる寮外者の大量宿泊の事実が認められたことに対してとられた処置である。

本日限り貴殿の向岳寮への入寮許可をとり消す。
よて昭和45年5月24日24時まで向岳寮から退去せよ。
なお他の寮への入寮を許可する用意があるので希望がある場合は厚生課に申し出よ。

■ 今年3月以降、3月17日、26日、27日、4月14日、28日の計6回の警告および4月30日、5月2日の事情聴取のための呼び出しが行われていたにもかかわらず、3月5日約60名、11日約100名、25日約230名、4月3~4日数十名、27日約160名、28日約160名、29日約30名、5月14日190名等の寮外者の宿泊が行われていた。

ニュース速報

5.27.'70
広報室

■ 5月25日、大学は、すでに19日付文書で入寮許可の取消されている向岳寮生全員(10名)に対して、再び次のような警告と文書で発送しました。

5月19日付け文書で通告した通り、貴殿の向岳寮への入寮許可は取消されている。退去期限の昭和45年5月24日24時が過ぎたにもかかわらずまだ立退いていない。直ちに退去されるよう嚴重に警告する。
なお、他の寮への入寮は、5月19日付け文書と同様に許可する用意がある。

これは、すでにフロニアル、ニュース速報でもお伝えしたように、向岳寮で大学の警告と無視し、多い日には200名と超る大量の寮外者と宿泊させるなどの事態が続いたことが認められたためにとられた処置であります。

■ 向岳寮は昭和41年以來の寮生と大学側との話し合いの線に従って逐次とりわしが行われ、また火災焼失もかさなつて現在では定員16名の個室を残すのみの老朽建物です。最近では向岳寮生として認められていた学生数は全部で10名となつておりました。

ニュース速報

5.29.'70
広報室

■ 昨28日正午頃からスローフに準備された会場に、学部学生約350名を集め、学生大会と称する集会が行なわれました。途中で若干のトラブルもありましたが、午後1時25分議長が議決事項を読み上げ一括採決が行なわれました。

提案スローガンは ⅰ) 向岳寮退寮命令粉碎、居残り貫徹 ⅱ) 加藤体制粉碎 ⅲ) 日帝のカンボジア介入反対 ⅳ) 安保粉碎 ⅴ) 沖縄奪還、日米共同声明 ⅴ) 5・29全学ストライキ達成の6項目です。

票決の結果、議長報告によれば賛成857、反対316、保留206 統計1,379で上記提案が可決されたというものです。この統計は全出席者数(約350名)のほぼ4倍あたりです。

なお過去の学生大会において委任状の認められた例はありません。

ニュース速報

5.29.'70
広報室

■ 若干の混乱が気づかれた本日の授業は、1件の授業妨害もなく平常通り行なわれました。

■ 早朝8時半頃より正門付近に集合した約50名の学生は、学内をデモ行進した後9時頃から80名が正門前に登り込みを続け、これととりまく約30名の学生とともに登校中の学生によむかけも行なっておりました。この影響で一時は自動車の通行に支障をきたす事態がおこりました。正門付近に集まった約120名は、11時頃から学内をデモ行進した後玄関前で再び集会し、午後1時すぎには各グループごとに順次解散し、午後2時すぎには平靜なキャンパスにもどりました。

ニュース速報

6.12.'70
広報室

■ 本日6月12日早朝、向岳寮生の向岳寮からの退去が東京地方裁判所により執行されました。同時に向岳寮の建物取りこわしが開始されました。

これは本学の要請にもとづき提出された仮処分申請が裁判所により認められ、本日の執行となったものであります。

このような執行に至った理由は、本日付学長告示に示されている通りであります。

1. 昨年以來 100名から200名に及ぶ学外者あるいは寮外者が、大学側の度重なる警告を無視して不法宿泊を続けていること。
2. 向岳寮の建物が甚だしく老朽しているので、このように多数の学外者が宿泊する場合は危険が予想されること。
3. かかる不法宿泊にともない、学園の平和と秩序が著しく阻害されたこと。

ニュース速報

6.12.'70
広報室

(2)

■ 向岳寮生の向岳寮からの退去は、東京地方裁判所により本日午前5時より、浅枝工学部長が学長の命をうけ寮生に対する通告を行ない、執行が開始された。

退去を求められている向岳寮生は10名であるが、この時点において宿泊していたのは、寮外者を含めて9名であった。

在寮生の確認が終了したのち、午前6時半ごろから附属建物(ボイラー室、物置等)の取りこわしから開始され、現在集会所の取りこわしが進行中である。

なお、執行は順調に完了した。

(午前8時現在)

ニュース速報

6.12.'70
広報室 (3)

- 本日早朝開始された向岳祭の建物取り回しの作業は順調にすすみ、午前11時頃には完了しました。これにともなって本日から当分の間、向岳祭跡に立入禁止区域ができました。
- 本日の授業は都合により教室の変更がありましたが、混乱も起らず平穏に行なわれました。この教室の変更は本日限りで、明日からは平常通りとなります。
- 6月12日付「東京工大クロニクル号外」が発行されております。教務課窓口あるいは学生室でお受取り下さい。

ニュース速報

8.3.'70
広報室

- 本日、大和 敏(放学)、珍道幸久(停学)、清水満(停学)の3名に対し、学則才51条による懲戒処分のお知らせがなされました。この3名の学業に対する処分は、いずれも度重なる警告も無視し、授業妨害などの行為をつつし、しかも今日に至るまで反省の色もなく、学業に復帰するなどの態度を全く示さなかったことによるものです。学長は、さらに、今後再びこのような事態を起さぬよう学生諸君へ強く要望しております。

学則才51条 本学の規則を守らず、警告に反する行為のあった者は、懲戒する。

2 懲戒は、謹慎、停学および放学とする。

ニュース速報

6.18.'70
広報室

- 6月18日午前11時半ごろからスロープで開かれた学生の集会は、大学が講堂の使用を許可していなかったにも拘らず、講堂北側のドアを破壊し内部に侵入し、正午ごろから午後2時すぎまで不法に使用しました。大学はこの行為に対し、学長名をもって嚴重な警告を発しております。
- なお本日の学生の集会では、明19日および23日の全学ストライキを含む集会スローガンも(賛成577反対32)(総得票数609)で採決したと報告しております。しかし大学は、このような事情とは関係なく、6月19日および23日の授業を平常通り行ないます。

ニュース速報

8.17.'70
広報室

- 学外者また大量宿泊
—— 思田祭委員長に警告 ——
8月16日 教務部長名で思田祭委員長宛に警告が出されました。これは今年に入ってから3月17日、4月24日 同祭委員長宛に祭外者の大量宿泊を厳に慎むよう警告が送付されていましたが、8月15日夜 約120名の学外者が同祭に宿泊したことが確認されたためとられた措置であります。これら宿泊者は前日 法政大学に集合、街頭カンパを行なった後 同祭に集団宿泊したものと見られております。
- 如月祭にも警告
8月15日の思田祭の学外者の大量宿泊について、8月16日夜、如月祭にも約100名にのぼる学外者が大量宿泊しました。これら宿泊者の大部分は、16日朝 思田祭を出てから 横浜市内で行動後、同祭に宿泊したものと見られております。
- なお、学祭における学外者の大量宿泊に対して、本学では厳格な処置がとられており、すでに向岳祭において祭生全員に退去命令が出された前例のあることは周知の通りであります。

ニュース速報

8.19.'70
広報室

■ 学外者の大量宿泊 続く

思田寮、如月寮では、教務部長の警告も無視して8月16日以降も学外者の大量宿泊が続いています。

15日思田寮に約120名、16日如月寮に約100名、17日如月寮に約60名、18日思田寮に90名を超える学外者の連続大量宿泊がたしかめられております。

大学としては8月16日以来連日教務部長名で思田、如月両寮委員長あてに、学寮における学外者の大量宿泊を厳にいましめる旨の警告を送付してきておりますが事態が改善されない模様なので、今後のなりゆきが憂慮されております。

なお、これらの宿泊者は毎朝寮と出発、都内、横浜市内主要駅付近などでカンパ活動を行なっており、夜間本学の学寮に宿泊しているものです。

ニュース速報^特

8.28.'70
広報室

■ 口論のすえついにナグリ合い

夏休み明けの8月28日、正門付近で“東工大反戦学生会議”名のビラを配っていた4名の学生と、白ヘルメットを着用した数名の学生との2つのグループが、午前9時頃から口論を続けておりましたが、10時55分にいたりついにナグリ合いとなりました。

従来[学内でこのような事件が起った前例はありましたが、特に最近の他大学での内ゲバ事件などが頻発しているおきから、これをキッカケに学外者の大量動員、というような不祥事件が起る可能性も全くないとはいえない状態で、なりゆきが憂慮されております。

ニュース速報

8.21.'70
広報室

■ 学外者の大量宿泊 阻止

8月15日以来4日間にわたり学外者の大量宿泊がつつきましたが、事態改善のきざしが見えなかったため、19日午後両寮に対して大学の許可のない者の立入りが禁止され、寮外者に対する検問が行なわれました。ある程度のトラブルが予想されたので警察の出動を要請しましたが、全くトラブルなく学外者の寮立ち入りは完全に防止されました。寮生の生活はもとより、学内での夜間の研究活動などについては全く平常とかわらないう十分な配慮が払われました。

■ 夏休みの環境整備進む

正門前の職員組合専用掲示板が組合員有志の手で自主的に清掃されたのをはじめ、一般掲示板その他建物内のほり紙類の一斉清掃が行なわれました。このほかの環境整備作業も現在進行中です。

ニュース速報

9.8.'70
広報室

■ 如月寮に警告

9月8日、教務部長は如月寮委員長にあて、学外者宿泊につき警告を発しました。

これは、9月6日夜および7日夜、それぞれ20数名にのぼる学外者が宿泊したことが確認されたためにとられた措置であります。

如月寮では、8月中旬にも連夜の学外者多数宿泊の事実があり、大学はその都度警告を発してきております。

このような行為は、大学としては容認することができず、今後、絶対に起さないよう責任ある行動をとることを、厳重に望んでいます。

ニュース速報

9.10.'70
広報室

学内の暴力事件で負傷者

9月8日に引き続き、9月9日朝もビラ配り中の学生間でなぐり合いがおこり、一時双方引き上げた後、立て看板のこわし合いから再びはげしい乱闘となりました。

一部の学生は立て看板の破片と思われる角材をふるって暴行を加え、このため2名の学生が負傷して学内診療所に運ばれ、また学生2名が逮捕されました。

この暴力行為に肉して、10日朝6時45分頃より裁判所の捜索許可令状による学友会本部室(本館3階)の捜索が行なわれました。

このような暴力行為は学内の府である大学としては許しがたいことであり、これに対しては断乎たる処置がとられる模様です。

ニュース速報

9.11.'70
広報室

破壊行為で如月寮に警告

9月10日、教務部長は如月寮委員長に於て、下記のような警告を発しました。

これは、9月6日早朝、延長工事中の才十一中学校との境界塀の基礎を破壊し、工事のために準備してあったコンクリートブロック数十個を谷川に投棄したなどの行為に対してとられた処置であります。

なお、この破壊行為のため、工事は一時中断され工事方法再検討の止むなきにいたりました。

如月寮委員長 古賀哲次殿

去る9月6日早朝、一部の寮生および寮に宿泊したものが、本学如月寮と才十一中学校との境界塀の延長工事のための基礎を破壊し、準備してあった資材を谷川に投棄した。

このような行為は、学生としてあるまじき行為であり、大学として許すことはいけません。

今後このような行為が行なわれる場合には、断固たる処置をとらざるをえないので、寮委員長たる貴君の責任ある行動を強く要望し、ここに警告する。

昭和45年9月10日

東京工業大学教務部長

長崎久弥

ニュース速報

9.14.'70
広報室

寮経費話し合い期限つきで要請

思田寮における寮経費(光熱水費等)の未払分は40年度のみでも40万円にも達し、教務部長個人が立替払をしている。この事態を解決するため、本年3月19日、4月3日、4月25日の3回にわたり思田寮委員長、同会計委員あて話し合いに応ずるよう要請したが何等の応答なく、未払額は増加の一途をたどっている。

もはやこれ以上放置できない事態に立ち至ったため12日教務部長名で9月19日までに経費負担区分に関する話し合いに応ずるよう期限つきの要請が出された。

19日までに連絡が得られなければ、大学としては何らかの具体的措置を講ずるもようである。

9月9日暴力事件関係

9月9日学内で起った暴力事件に関連して、裁判所の捜索許可令状による全学寮委員会室の捜索が9月10日10時25分頃より行なわれました。

ニュース速報

9.21.'70
広報室

如月寮委員長に警告

——— 堀工事の妨害で ———

本日21日、午前9時半ころ、如月寮わきの谷川沿いの堀建設工事を、同寮委員長をはじめとする寮生多数が妨害した。この事件に肉し、教務部長は威力業務妨害に該当するとの嚴重な警告を発した。

思田寮負担区分の交渉

——— 21日教務部長室で ———

すでにお知らせした通り、9月12日付教務部長名で、思田寮委員長、同会計委員あて、寮経費負担区分に関する話し合いに応ずるよう期限つきの要請が出されていたが、本日21日、同委員長および副委員長(同会計委員代理)が教務部長室に出頭し、12時15分から1時00分まで教務部長等と話し合いが行なわれた。

しかし、依然として話し合いによる解決の可能性が見出されなかった模様である。

ニュース速報

9.25.'70
広報室

寄宿料未納者に対する措置と発表

本日9月25日の全学教授会において、大学は、長期にわたる寄宿料未納者に対し、10月15日までに嚴重な取立てを行なうことを発表した。この期日までに納入のない場合は、学則により入寮許可取消しの措置をとらざるをえないことを未納者におて警告した。

寮経費負担区分について納入督促

思田寮における光熱水料・燃料費の寮生負担額の問題につき、これまで大学側の再三にわたる呼びかけにもかかわらず、期限付きの9月21日の交渉においても、話し合いに入ろうとする態度さえ見られないので、大学はやむをえず、思田寮生に対し、寮生負担額（寮生1人あたり10月660円のうち大学に納入するもの310円）を寮生各自が10月25日までに、直接厚生課に納入するよう通告した。

ニュース速報

10.26.'70
広報室

寄宿料長期未納者17名に入寮許可取消し

9月25日の全学教授会において、寄宿料の長期未納者27名に対し、嚴重な措置をとることを決定した。（既報）

これにもつき、10月15日の期限つきで督促した結果、一部寮生からの納入を見たが、この督促に応じなかった17名の寮生に対し、10月23日付で入寮許可取消しの告示が出された。

科研費申請期日は11月中旬ごろ

昭和46年度の科研費の申請メ切り期限は、例年より1カ月早くなります。学内メ切りは11月中旬ごろになる予定ですから、各位に注意願います。

ニュース速報

9.28.'70
広報室

学友会本部室を閉鎖

大学は、昨9月27日、本館3階の学友会本部室を閉鎖し、当分の間使用禁止の措置をとった。

これは、従来から同室が大学の禁止事項違反の拠点として使用され、特に9月9日の学内暴力事件の拠点となったことが明らかになったため、今後このような事件の再発防止のためにも、止むをえずとられた措置である。なお現在、学友会執行部の実体が明らかでないまま使用がつけられ、部屋の管理状態の悪さは周知の通りであった。

ニュース速報

12.24.'70
広報室

送電停止と緊急回避

—早期解決を迫られる思田寮寮生負担区分折衝—

思田寮に対する12月22日期限の、東京電力からの電力供給停止通告は、大学側の新たな措置により、とにかく今回は一応回避することができた。

しかし、思田寮光熱水料の寮生負担分（1人あたり月額310円）を、大学側の度重なる請求にもかかわらず、依然として滞納しつづけている現状では、送電停止に因する事情は更に深刻化し最悪の事態を招くことは必至であると予想される。

大学は、あくまでもこの事態を回避するため、ひきつづき思田寮生ならびに保証人におて、寮生負担分を至急に納入するよう呼びかけている。

入学試験当日の入構について

きたる3月3日(水)、4日(木)は学部入学試験の学力検査が本学内の主要な建物すべてを使用した試験場で行なわれますので、静かな環境で受験が行なわれるよう入構制限措置がとられます。

この両日は本学教職員および特別に許可された者は入構できますが、学部、大学院の全学生および研究生、外国人留学生等は入構できません。教職員は必ず身分証明書またはこれに準ずるものを御持参下さい。また、自動車を利用される方は午前9時までは南門から、それ以後は正門から入構して下さい。

なお、3月5日(金)は入学試験の健康診断が行なわれますが、特に入構を希望される学生についてはきたる3月2日(火)までに休日入構に準じて許可願を提出して下さい。

昭和46年度学部入学試験

願書受付は2月10日で締切りでしたが、この結果入学定員779名に対し応募者は3,586名(4.6倍)でした。内訳は1類846名(5.3倍)、2類144名(2.6倍)、3類415名(2.9倍)、4類715名(4.1倍)、5類690名(5.6倍)、6類776名(6.2倍)でした。

恩田寮に強制捜索

昨6月29日午後、恩田寮北棟2階518号室において、江戸川簡易裁判所発行の捜索差押許可状にもとづき、強制捜索が執行されました。

これは、去る6月17日いわゆる「沖縄返還協定調印阻止闘争」の環として行なわれた、明治公園における中核派学生等による爆発事件において、公務執行妨害および準備集合被疑事件の被疑者として検挙されている本学恩田寮生の一丁君の居室に対し執行されたものであります。捜索は午後1時5分に開始され、恩田寮委員長をふくむ居あわせた寮生数名の見まもる中で、厚生課長および大学関係者立会いのもとに、ビラ等印刷物5束が押収され、午後1時40分、終了しました。

この捜索に関し、午後4時30分ごろ、恩田寮生をふくむ他の寮生も加わった6名が捜索の執行手続きにつき厚生課長に面会を求め、教官数名も加わって話し合いが行なわれ、午後5時27分、退出しました。

恩田寮にも違反の入居者

さきに高津寮において、本年度の寮生募集停止措置に違反する行為のあったことが指摘されていましたが、恩田寮においても寮生名簿に記載のない者の居住していることが最近確認され、近く新たな措置がとられる模様であります。

全学祭期間中に流血事件発生

—セクト間の内ゲバで—

全学祭開催中の5月29日(土)午後2時ごろ、山岳部がスライド映写をすると言われていた本館1階111講義室を不法使用して、北小路敏氏(中核派全学連元委員長)を招き、無届けの講演会が開催された。

これに対して他の学生グループは事前にこの集会粉砕をよびかけていた。このためか同講義室では出入口の扉をロックし集会をつづけた。集会は女性を含む十数名の参加によって、午後4時すぎ終了退室しようとしたが、付近の廊下などに待ちうけた学生たちに包囲され、隠しもつた鉄棒で殴られ、集会出席者中に数名の負傷者が出たが、北小路氏はかろうじて難をのがれ、学内寮の一つに逃げこんだ模様である。

なお負傷者の1名、元恩田寮委員長A君は都内の病院で治療を受け(全治3週間程度)またT君は頭部に相当のケガをした。この日は全学祭委員会の本部企画で成岡庸治氏(革マル派全学連元委員長)の講演会も行なわれたので、大学としても事態を警戒中であつたが、一瞬の出来事であり、遂にケガ人を出し、全学祭の行事に一大汚点を残した。

いわゆる「流氓祭」に対して警告

5月27日、28日の両日にわたる講堂不法使用ならびに天幕建設による不法興行に対し、それぞれ責任者に対し、直ちに中止するよう指名警告が出された。

ワグネル像附近で爆発事件発生

本8月24日(火)午後2時40分頃ひたん池ワグネル像附近で火薬類を用いたと推定される爆発事件があった。

ワグネル像の本体に被害はなかったが、そのそば木の一つが爆発のため附近に飛散し、台座の一部が破損した。

今後この種の事件再発防止のためお気付のことがありましたら直ちに門衛所に御連絡下さい

Tel. 内線 4016
(726-6530)

☒ 入学試験当日の入場について

きたる3月3日(金)、4日(土)は学部入学試験の学力検査が本学内の主要な建物すべてを共用した試験場で行なわれますので、静かな環境で受験が行なわれるよう入場制限措置がとられます。

この両日は本学教職員および特別に許可された者は入場できますが、学部、大学院の全学生および研究生、外国人留学生等は入場できません。教職員も必ず身分証明またはこれに準ずるものを御持参下さい。また、自動車を利用される方は午前7時30分まで正南門から、それ以後は正門から入場して下さい。

☒ 昭和47年度学部入学志願者

願書受付は2月10日で締切りましたがこの結果入学定員777名に対し応募者は4137名(5.3倍)でした。

内訳は1類708名(157名)、2類194名(58名)、3類437名(143名)、4類821名(170名)、5類833名(124名)6類744名(125名)でした。

東京工大クロニクル №.1～№.13
同号外・ニュース速報

昭和52年8月30日 編集
東京工業大学広報委員会 発行
東京都目黒区大岡山2-12-1 Tel(726)1111
(株)昭和工業写真印刷所 印刷
東京都港区三田5-14-3 Tel(452)8451
